



# 天草

市政だより

日本の宝島 「天草」の創造を目ざして！

平成23年

9.1

No.130



## 不思議！なんでそうなるの？

7月24日、理科の実験を見て体験する「おもしろ実験教室!!」が河浦町の一町田小学校体育館で行われ、同校の1～3年生の児童や保護者など、約100人が参加しました。同教室では、県内の高校に勤務する理科の教員8人が、空気や水などを使った9つの実験を実演。児童たちは、目の前で起こる不思議な現象に興味深くのぞき込んだり、驚きの歓声をあげたりしていました。

### 主な内容

- 「オリーブの島づくり」を目ざして…2～5
- 東日本大震災 被災地支援の取り組み…6～7
- 行財政改革の取り組み状況 ……8～9
- 天草ほんどハイヤ祭り……………10～13
- 宝島のわだい……………12～15
- みんなの広場など……………16～19

# 「オリーブの島づくり」を目標として

オリーブは、5,000〜6,000年前から地中海沿岸で栽培されていたといわれている、モクセイ科の常緑樹です。果実を搾ってオリーブオイルにするのが代表的で、実をそのままピクルス（漬け物）にしても食べられているほか、せっけんや化粧品などの原料として数多くの加工品もつくられています。また、近年、健康志向の高まりとともに再び注目を集めています。

このような中、市ではオリーブ栽培を通じた加工、商品開発・販売などを行う新たな6次産業化の推進、オリーブを活用したさまざまな地域振興を旨として、「オリーブの島づくり」に取り組んでいます。

今号では、「オリーブの島づくり」に向けた取り組みの概要などについて紹介します。

## 「オリーブの島づくり」で目指す

### 6つのこと

#### 1 6次産業化の推進

6次産業化とは、農林漁業などにおける生産（第1次産業）と加工（第2次産業）、流通・販売（第3次産業）を連携・融合することで、新しい価値と新たな産業を創出させるという考えです。

市では、オリーブの栽培、加工・商品開発、販売を一貫して市内で行う新たな6次産業を構築し、雇用の創出や地域振興を旨としています。

#### 2 耕作放棄地の解消

市内には、総農地の約3分の1にあたる約2,000ヘクタールの耕作放棄地があります。そこで、耕作放棄地の解消作物、耕作放棄地化させない作物としてオリーブ栽培を普及し、農地の有効利用を図っていくものです。

※耕作放棄地とは：耕地のうち、過去1年以上作付けせず、しかもこの数年の間に再び作付けする考えがない耕地のこと。

#### 3 農業者の副収入の確保

オリーブ栽培は、比較的少ない労力による栽培が可能であることから、農業者の副収入が確保できる作物として期待できます。

#### 4 地域づくり

現在、市内の地区振興会などでは、地域づくり活動の一環として農作物の栽培が行われています。オリーブは、ほかの農作物と比べて手がけやすいことから、地区住民などがふれあい、そして協力しながら取り組むことができる作物としての活用が期待できます。

#### 5 観光資源

オリーブは平和の象徴としても知られており、国際連合の旗（国連旗）にはオリーブの枝葉がデザインされています。自然豊かな天草に平和のシンボルであるオリーブが栽培されている風景は、絶好の

#### 6 健康づくり

観光資源になると考えられます。また、天草の新鮮な食材とオリーブオイルを使った料理の提供も可能であり、観光客の増加が期待できます。

オリーブオイルには、ほかの植物油に比べてオレイン酸が多く含まれています。オレイン酸には、血液中の悪玉コレステロールを抑える働きがあるといわれ、生活習慣病の予防が期待できます。オリーブオイルを誰でも気軽に手にしてもらおうことで、市民の健康づくりに寄与することができそうです。

# 「オリーブの島」の実現に向けて

## オリーブの島づくり

### 推進計画を策定

市では、オリーブの島づくりに向けた取り組みを計画的に推進するため、平成26年度を目標年次とする「オリーブの島づくり推進計画」を策定しました。

同計画では、目標年次の栽培面積を80ヘクタール、栽培本数は64,000本、収穫量を35,000kgとするなどの目標数値を設定。また、その目標を達成するための5つの項目と12の施策を盛り込んでいます。

### 市オリーブ振興協議会を設置

オリーブの島づくりに向けた取り組みを推進するためには、関係機関との連携が不可欠です。

このため、平成22年6月29日に県やJA、(社)天草宝島観光協会、荅明高校、オリーブ

栽培企業など8団体で組織する「天草市オリーブ振興協議会」を設置。同協議会では、

オリーブを通じた新たな産業の創出や地域振興を図るため、栽培支援や加工品開発、販路開拓などに関する次の事業に取り組みんでいます。

#### ①普及・啓発活動

・オリーブ栽培を検討している人々を対象にした説明会などの開催（左ページ参照）。

・オリーブに関する講演会の開催。

・ホームページを活用した情報の発信。

「ホームページアドレス」

<http://hp.amakusa-web.jp/a0771/MvHp/Pub/>

#### ②栽培技術の調査・研究

・天草型の栽培方法の確立に向けた研究。

・栽培研修会の実施。

・栽培指導の実施。

③加工商品の開発に向けた調査・研究

## 市内に

約7,300本のオリーブ

現在、市内で栽培されているオリーブは、約12ヘクタールの農地に約7,300本となっています（※いずれも市で把握している数値）。今後、さらなる普及活動を行うとともに、皆さんのご協力をいただきながら栽培面積の拡大に取り組んでいくことにしています。



▶オリーブ栽培研修会のようす

## 荅明高校と協定を締結

荅明高校の校歌には「真理の森にオリーブの玉の実ひしと培えば」という一節があり、校庭に9本のオリーブが植栽されています。そして、平成22年には同校の農場に80本のオリーブが植栽され、育苗研究が行われています。

また、校内にオリーブ検討委員会を設置し、オリーブオイルを使ったクッキー等の食品やせっけんなどの加工品の試作を行うなど、全学科（園芸科学科、食品科学科、商業科、生活情報科、普通科）をあげての取り組みが始まっています。

このような中、同校の取り組みが市が目ざす『オリーブによる6次産業化』に向けた取り組みに弾みをつけることも、オリーブに関する情報を共有し、同校と共同研究を行っていくことが有効な方策であるとして、今年3月23日に「オリーブの共同研究に関する協定」を市と同校の間で締結しました。



◀オリーブの挿し芽作業を行う同校の生徒たち

今後は、栽培研究・加工品の販売など、さまざまな分野において共同研究を進めていくこととしています。



※「オリーブの島づくり」に関する詳しいことは、本庁（別館）・農業振興課オリーブ振興係 ☎11111内線2585へお尋ねください。

## インタビュー

### オリーブの可能性に

#### 夢が膨らむ



天草オリーブの会  
代表 藤崎 正博さん

耕作放棄地の解消や地域づくりの一環として、倉岳町宮田地区の住民20人が集まり、市の補助事業を活用して昨年からはオリーブ栽培に取り組んでいます。現在は、50アールの農地に11種類のオリーブ200本を植栽し、今年は新たに60アール・400本を植える予定です。会員の平均年齢は70歳と高いですが、「食べるのが楽しみだね」「私は化粧水にして使おうかな」などと、まだ見ぬオリーブの実に夢を膨らませながら、みんなで楽しんで生育管理を行っています。

そして何より、この取り組みが一つの産業として根付くことで、若者が天草に残ってくれることがいちばんだと思っています。

ただ今  
進行中!

### オリーブの島づくりへ向けた さまざまな取り組み

#### 「五和まちづくり協議会」

オリーブオイルソムリエ・小暮剛氏を講師に招き、講演会やオリーブ料理コンテストなどを昨年からは開催。これは、オリーブの「食」の面に着目した取り組みを行うことで、オリーブを住民により身近に感じてもらうことなどが目的です。五和町内では、天草の新鮮な食材とオリーブオイルを使った料理の試作が盛んに行われるなど、地域づくりの手段としてオリーブが活用され始めています。



◀オリーブ料理コンテスト（小暮氏は中央）

## オリーブを 植えませんか

オリーブは、秋植え（11月下旬から12月上旬ごろ）と春植え（3月上旬から4月下旬ごろ）があり、ほかの農作物と比べ栽培しやすい作物であるといわれています。

また、収穫した果実を搾って料理に使ったりするなどの楽しみもあります。

皆さんも、空いている農地などがありましたら、ぜひオリーブを植えてみませんか。

### ◆オリーブ植栽補助金の活用を

- 補助対象＝市内に住所がある市民・団体・事業所など。
- 補助対象経費＝①苗代や植栽にかかる経費 ②耕地再生や土壌改良にかかる経費など。
- 助成額＝補助対象経費の2分の1以内（10アール当たり10万円を上限）。

※申込方法や補助対象経費などの詳細は、本庁（別館）・農業振興課オリーブ振興係または牛深支所・産業振興課、その他の支所・産業建設課へお尋ねください。

### ◆地区別説明会へご参加ください!

オリーブの島づくりへ向けた取り組みや栽培方法などに関する地区別説明会を、次の4会場で開催します。

最寄りの会場へ、お気軽にご参加ください。

とき	ところ
9/26日(月)	一天草下島地区会場 河浦支所・2階大会議室
9/27日(火)	一天草上島地区会場 倉岳支所・2階会議室
9/28日(水)	一天草地区会場 牛深支所・2階会議室
9/29日(木)	一天草市全域 天草市民センター・大会議室

※時間はいずれも午後7時30分から午後9時まで。

#### 【問い合わせ先】

本庁（別館）・農業振興課オリーブ振興係  
☎231111内線2585



▲「お茶っこ会」で牛深ハイヤ踊りを踊る皆さん

県と県内各市町村職員による保健医療チームの一員として、7月25日から8月1日まで、宮城県南三陸町の2次避難所「南



社会福祉課  
福本 美佐子 参事  
(保健師)

## 牛深ハイヤ踊りで健康づくり

三陸ホテル観洋」で、被災者の健康相談や健康チェック、仮設住宅での健康調査などの活動を行いました。同町においては、がれきの撤去が進み電気や道路も復旧しているほか、住民は仮設住宅へ転居するなどして避難者も減りつつありました。一方、活動拠点である同ホテルの避難者数は422人(昼間は100人)で町内最大規模、災害時要援護者も20人が身を寄せておられるという状況でした。

このような中、県の保健医療チームでは、避難者の生活不活発病予防のため、簡単な運動などをした後にお茶を飲みながら歓談する「お茶っこ会」を同ホテル内で運営。その中で、同じ港町ということで「牛深ハイヤ踊り」を皆さんに紹介し、笑顔で取り組んでいただきました。

今後は、避難所の閉鎖に伴い、仮設住宅での生活における、健康問題などへの相談体制の整備や、健康づくりへの支援が必要になると思われます。

## 東日本大震災関連支援情報

### 被災者を雇用した 市内の事業者へ補助金を交付

東日本大震災や福島原子力発電所の事故に伴い、市に避難してきた被災者を新規雇用した事業者に対して、雇用者1人につき月額15万円を限度に補助金を交付します。

補助の条件は、市内に本社があり雇用保険に加入している事業所(農・漁業などを営む個人経営者も含む)で、ハローワークを通じた正規雇用(期間の定めのない雇用契約で、所定労働時間が週35時間以上のもの)であることが必要です。申請方法などの詳細は、本庁(別館)・商工観光課へお尋ねください。

#### 【問い合わせ先】

本庁(別館)・商工観光課産業支援係

☎1111内線2557

### 市営住宅への受け入れや 移動費用などに一時金を交付

市では、東日本大震災の被災者や、福島原子力発電所の事故に伴い避難対象となっている地域内の居住者を対象に、次の支援を行っています。申請方法などの詳細は、本庁・防災交通課へお尋ねください。

- ①市営住宅などへの受け入れ。
- ②市に避難してきた被災者に対し、被災地から市までの移動費用として1人5万円を交付。
- ③被災者が本市で生活していくうえで必要な生活必需品の購入費用として、1人5万円を一時金として交付。

#### 【問い合わせ先】

本庁・防災交通課防災消防係

☎1111内線1231

## 東日本大震災

# 被災地支援の 取り組み

市では、3月11日に発生した東日本大震災を受けて、被災地の支援を目的に市職員を現地に派遣しています。

そこで今号では、派遣された職員による現地での支援活動などについて紹介します。なお、市では今後も職員を派遣するなどして、支援を行ってまいります。

### 東日本大震災義援金

31,794,523円 (8月15日現在・天草市受付分)

皆様のご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします。

7月19日から同30日まで、県と県内各市町村職員による合同支援派遣チームのメンバーとして、宮城県東松島市の同市役所で、住宅応急修理の申し込み処理業務などの支援活動に従事しました。現地においては、震災後4カ月が経過し、一部の地域ではがれきの撤去が行われているものの、物的な被災状況について大きな改善は見られませんでした。

また、被災された住民に対する支援義援金の支給や生活再建支援金、各種貸付などについても支給状況は一部にとどまっております。被災地の住民の皆さんが生活基盤を整えるまでには、ま



水産課  
山本 大輔 主事

## 復興にはまだ時間を要するも 住民の気持ちを感じ取る

まだまだ時間が必要であると感じました。

一方、市内では夏まつりなどのイベントが開催され、多くの人出でにぎわいを見せていたことから、住民の皆さんも時間の経過とともに現実を受け止め、復興に向けて立ち向かっていくという気持ちを感じ取ることができました。



▲にぎわいを見せる夏祭り

### 市職員の被災地への派遣状況 (8月15日現在)

支援派遣区分	支援地	派遣人数
県合同支援派遣	宮城県東松島市	29
県保健医療チーム帯同派遣	宮城県南三陸町	11
応急給水活動隊	宮城県石巻市	1
水損公文書復旧支援派遣	岩手県釜石市	4
あまくさ晩柑、児童などの手紙配送	宮城県東松島市	8



▲水損公文書の復旧作業のようす

# 行財政改革の取り組み状況

## ～第1次天草市行政改革の成果と 第2次天草市行財政改革の取り組み～

市では、「10年後の天草市を見据えた持続可能な行政運営の確立」を目ざして、平成18年度から同22年度までの5年間を推進期間とする「第1次天草市行政改革大綱」を策定し、市民との協働による行政運営の推進など3つの基本方針を柱として、31の実施（推進）項目について行財政改革に取り組みました。今回は、これまでの5年間で実施した内容やその成果などのほか、今後の取り組みについてお知らせします。

なお、行財政改革の取り組み状況の詳しい内容を記載した資料を、本庁・行財政改革推進課や牛深支所・総務振興課、その他の支所・総務市民課、各出張所に備え付けていますのでご覧ください。また、市のホームページでもご覧いただけます。

### 第1次天草市行政改革の成果

平成18年度から同22年度までの推進期間中は、各種制度の積極的な運用をはじめ、行政運営の健全化に向けて、職員定員の適正化や民間委託などの推進、市税等の収納率向上などに取り組みました。その結果、同18年度からの累計で19億2,793万1千円の歳入を確保。歳出においても46億550万4千円を削減することができました（詳細は左ページの表を参照）。なお、基本項目ごとの主な取り組み内容は次のとおりです。

#### 1 市民との協働による行政運営の推進

「市民と行政の協働指針」を策定するとともに、NPO（非営利団体）の活動に興味がある地域やグループを対象としたNPOセミナーなどを開催し、市民活動への支援を行いました。また、政策形成における市民参画を促す手段として導入

した、市民提案制度やブリックコメント制度の普及と活用を推進した結果、平成22年度までに市民提案には19件のご提案が寄せられ、パブリックコメントには19件の手続きに対して、450件のご意見をいただきました。

さらに、行政情報をわかりやすく提供するため平成19年度から実施している出前講座を、これまでに147回開催しました。民間委託などの推進については、同19年度に策定したアウトソーシング推進計画をはじめ、各種指針・計画等を策定し、保育所の民営化やごみ収集業務、水道メーター検針業務、水道料金等収納・窓口業務、広報紙編集業務等を外部へ委託するなどを、民間事業者への委託を積極的に推進しました。

※1 パブリックコメント制度：重要な施策などを立案するときに、その案を広く市民に公表し意見を募るとともに、出された意見を案

にいかせるかどうかを検討し、その結果と市の考え方を公表する制度。  
※2 アウトソーシング推進計画：行政の業務を外部に委託したり、民営化したりするための計画。

#### 2 経営感覚を取り入れた行政運営の確立

平成19年度に策定した財政健全化計画にのっとり、財政運営に努め、市税のほか各種使用料などの徴収率向上や、市有財産の利活用・売却などの自主財源の確保に向けた取り組みについては、目標値を大きく上回る実績をあげました。さらに病院事業についても、同22年度から地方公営企業法の全部適用となり、病院改革プランに基づいた改革を推進しています。

また、定員適正化計画に基づいた職員数の削減については、目標としていた普通会計職員1,000人体制には53人到達することができました。しかし、職員の総数では、5年間で220人が削減されたことで、目標を達

#### 3 質の高い職員による行政運営の確立

成することができました。このほか、補助金・負担金などの見直しや行政評価システムの構築、イベント等への行政のかかり方の見直し、第三セクターの経営健全化などの事務事業の整理合理化に向けた取り組みについては、改革には着手してはいるものの成果が得られていない項目もあることから、今後も課題などを整理し、事務事業の合理的な実施に向けて取り組んでいくこととしました。

職員研修実施計画に基づき、職員の意識改革を旨とした接遇研修を実施したほか、国・県などへの派遣研修や市町村アカデミー、自治大学校研修などを積極的に実施し、職員の専門的な知識、技術の習得に取り組みました。また、人事評価制度や職員提案制度などを導入しました。

### 第2次天草市行財政改革の取り組み

第1次行政改革の反省を踏まえ、今後の行政運営に求められるさらなる課題に適切に対応するため、平成23年度から同26年度までの4年間を推進期間とする、「第2次天草市行財政改革大綱」を策定しました（概要は5月1日号「市政だより天草」に掲載）。

今後、天草市行財政改革審議会（会長 桑原隆広・熊本県立大学教授、ほか委員9

人）の意見を踏まえながら、市長を本部長とする行財政改革推進本部を中心にして、引き続き全庁をあげて徹底した行財政改革を推進していきます。

詳しいことは、本庁・行財政改革推進課 11111内線 1322へお尋ねを。

### ◆行財政改革による5年間の効果額

項目	目標	実績
歳入確保	①市税などの徴収	13億7,128万9千円 市税等徴収：10億5,473万4千円 保育所保育料：121万円 市営住宅使用料：4,854万3千円 水道・簡水・下水道使用料：2億6,302万9千円 普通財産貸付料：377万3千円
	②市有財産の利活用や売却	5億4,807万5千円 市有財産売却額：4億3,128万7千円 市有財産貸付料：1億1,678万8千円
	③新たな収入源の開拓	856万7千円 広報紙・ホームページ：107万6千円 広告封筒：749万1千円
歳出削減	④民間委託などの推進	5億5,930万円 ごみ収集業務など…6億7,500万円
	⑤職員定員の適正化	32億2,700万円 職員削減による人件費削減累計額…29億8,200万円（窓口業務の効率化や民間委託などの推進による人件費削減額を除く）
	⑥給与制度の見直し	5,255万6千円 管理職手当の見直し：4,999万円 特殊勤務手当：256万6千円
	⑦補助金・負担金などの見直し	▲4億1,302万円8千円 見直しによる削減総額…9億9,200万円
	⑧物件費の抑制	11億7,967万6千円 物件費の削減累計額…6億3,600万円
効果額合計（歳入確保+歳出削減）		65億3,343万5千円

※行財政改革により捻出した財源については、主に将来の財政需要を見据えて財政調整基金に積み立てています（財政調整基金残高：平成17年度末 約64億円→同22年度末 約115億円【約51億円増】）。そのほか、市民生活の維持向上のための各種事業に活用しています。

※「①市税などの徴収」に掲げている目標値には、市税の徴収対策に係る効果額のみを設定していますが、実績値には保育料などの徴収対策による効果額も計上しています。



### 7/24 踊りの競演

天草市民センターホールで、11団体が踊りや演奏の競演!



### 7/23 天草子ハイヤ

元気いっぱいの踊りを見せる子どもたち

# 天草ほんど ハイヤ祭り

天草の夏の一大イベント「天草ほんどハイヤ祭り」を写真で振り返ってみましょう。



### 8/7 花火大会

約7,000発の花火が夏の夜空に大輪の花



ハイヤ大賞(総合1位)は「天草第一病院」



### 7/30 天草ハイヤ道中総踊り

▲山車大賞は「栢宇士」



▲沿道には多くの観客が詰めかけ踊りを堪能!



29チーム約2,500人が参加し熱気あふれる踊りを披露!



# わだいの



▶削り方を熱心に観察する児童

## 夏休み 小学生と高齢者の交流会 倉岳

### 夏休みの楽しい思い出をつくったよ！

7月25日、「夏休み 小学生と高齢者の交流会」が宮田公民館で行われ、宮田地区に住む倉岳小学校の児童と同地区老人会の会員40人が参加しました。これは宮田地区振興会が、地区内の世代間交流を図ろうと毎年開催しているもの。この日は、児童たちが老人会の会員から小刀の使い方などの手ほどきを受け、竹とんぼづくりを体験。完成後は、外に出て竹とんぼ飛ばしを楽しんでいました。その後、全長20mにつないだ竹を使い、倉岳特産のシモンそうめんを流しそうめんを実施。児童たちは、流れてくるそうめんをじょうずにすくいながら、おいしそうにほうばっていました。



▶流しそうめんのように

## ミカン(不知火)の木オーナー制度命名式 有明

### おいしいミカンがたくさんなりますように！

ミカン(不知火)の木オーナー制度に取り組む大浦地区振興会が7月24日、オーナーを招いて木の命名式を行いました。同制度は、1本1万円で木の持ち主になり、実ったミカンはすべてもらえるというもので、栽培や管理は主に地元の農家が担当します。この日は、オーナーやその家族など約250人が参加し、名札に名前や絵などを描き自分の木に結び付けつける“命名作業”を実施。参加者は、「おいしいミカンがたくさん収穫できるといいな」と笑顔で話していました。



▲名札を自分の木に結びつけるオーナーたち



▲2人がかりでやっと持ち上がるカボチャ(原田さんは右)

## ジャンボカボチャの収穫 栖本

### 大きなカボチャがとれたぞ〜

7月21日、町内で農業を営む原田勝延さんの畑で、巨大なカボチャが収穫されました。このカボチャは、アトランティックジャイアンツという、主に家畜の飼料として使われる品種。この日は、約1アールの畑に実った巨大なカボチャ7個を収穫し、いちばん大きなものは直径50cm、重さ37kgもありました。原田さんは、「来年は100kgを目ざしたい」と意気込んでいました。なお、このカボチャは現在、栖本温泉センターなどに展示されています。皆さん、ぜひご覧ください。

## 御領平和祈念祭 五和

### 恒久平和と東日本大震災の復興を願って

御領まちづくり振興会主催による「御領平和祈念祭」が8月9日、御領地区の招魂場で開かれ地区住民など約100人が参加しました。これは同振興会が、平和の尊さを考える機会を作ろうと、長崎に原爆が投下された日にあわせて毎年開催しているもの。会場では、御領小学校の児童による平和への作文朗読や地元合唱団などによるコンサートを実施。また、今回は東日本大震災の復興を願い、被災地へ贈る短歌・俳句の作品や同小学校の児童が絵付けした“復興風鈴”の展示のほか、参加者による応援メッセージの記帳も行われました。

その後、これらの作品は福島県川俣町立山木屋小学校の児童などへ送られました。



▲歌を披露する地元の合唱団の皆さん



◀復興風鈴を見る子どもたち



▲一生懸命に網を引く生徒たち

## “とんとこ漁”体験 御所浦

### 島の伝統漁法を肌で実感

8月8日、御所浦中学校と御所浦北中学校の生徒23人が、御所浦町に戦前から伝わる漁法“とんとこ漁”を体験しました。これは市教育委員会が、伝統的な漁法を学んでもらうことなどを目的に毎年実施。“とんとこ漁”という名称は、魚を網の中に追い込むために、船などをたたいていた音が由来であるといわれています。この日生徒たちは、地元の漁船3艘に分乗し御所浦港から約5kmの沖合いで、ふだんは見るのが少ない漁法を体験したほか、とれたての魚に直接触れたりして大喜びでした。

## 全国高等学校総合文化祭 牛深

### 最高の舞台上で牛深ハイヤ踊りを披露！

7月27日から同29日まで、「第35回全国高等学校総合文化祭(ふくしま総文)」の郷土芸能部門が岩手県盛岡市の盛岡市民文化ホールで開かれ、牛深高校郷土芸能部が県予選を勝ち抜き3年ぶりに出場しました。同部門は、東日本大震災の影響でいったんは中止となりましたが、全国の学生からの熱い要望で開催が決定。ステージでは、これまでの練習の成果を十分に発揮し、元気あふれる牛深ハイヤ踊りを披露しました。部員たちは、「優勝はできませんでしたが、最高の舞台になった」と話していました。



▲郷土芸能部員と関係者の皆さんで記念の1枚

## あまくさサンドアートフェスティバル

### でっかい！浜辺に巨大な砂の彫刻あらわる！

7月16日から同24日まで、「あまくさサンドアートフェスティバル」が有明町の四郎ヶ浜ビーチで開かれました。これは、現在開催中の天草海道博のスペシャルイベントとして同博実行委員会が企画したものです。期間中は、砂像マイスターの茶園勝彦氏による砂像をはじめ、同氏の指導で一般応募者が制作した恐竜やデコボンなど11点を展示。同ビーチを訪れた海水浴客らは、浜辺に現れた巨大な砂の彫刻に足を止め、記念撮影をするなどして楽しんでいました。



▲記念撮影をする海水浴客たち

## 大規模災害時の応援に関する協定

### 住民の安心・安全に向けて国と連携

天草地域内の2市1町と国土交通省の九州地方整備局は7月28日、大規模災害時の応援に関する協定を締結しました。この協定は、大規模な災害が起こるおそれがある場合や発生したときに、同局が職員の派遣や資機材の提供などを行うもの。この日は、東浜町にある天草コミュニティ防災センターで調印式があり、関係者など20人が出席。同省の熊本河川国道事務所・高木章次所長は、「住民の安心・安全のために連携を深めていきたい」と話されました。



▲安心・安全な地域に向けて固く手を組む出席者  
(左から安田市長、大香智正・熊本港湾・空港整備事務所長、高木所長、川端祐樹・上天草市長、田嶋章二・苓北町長)

## 牛深地域成人式

### 新成人おめでとう！

8月16日、「牛深地域成人式」が牛深総合センターで開かれ、新成人155人が浴衣姿などで出席しました。同地域では毎年、お盆の帰省時に成人式を開催。式典では、安田市長が「大きく未来に向かって羽ばたいてほしい」とあいさつした後、新成人を代表して尾山早紀さんが「社会人としての責任を胸に、勇気と信念を持って行動します」と宣言しました。その後、出席者は友人と話をしたり写真を撮ったりして、久しぶりの再会を楽しんでいました。



▲成人者宣言をする尾山さん

## 海のトリビア展

### 海にまつわる展示品に興味津々

7月17日から8月28日まで、「海のトリビア展」が今釜新町にある本渡歴史民俗資料館で開かれました。これは同館が、(財)日本海事科学振興財団の協力を得て初めて開催したもの。会場には、海の生き物の生態や船にまつわるパネルや模型、遊具など7点を展示。期間中は夏休みということもあり、8月4日に来場した親子は、ウミガメの卵の形をしたボールをはじめオスとメスに分けるスマートボールを楽しんだほか、展示品に興味深く見ていました。



▲スマートボールを楽しむ親子

## 浄南夜まつり

## 本渡

### 熱気に包まれた真夏の夜

7月23日、「2011浄南夜まつり」が太田町にある天草信用金庫本店駐車場の特設会場で開かれました。これは、浄南町の商店などで組織する浄南繁栄会が、毎年この時期に開催しているもの。同祭りでは、特設ステージで早飲み早食い大会や太鼓の演奏、ダンスショーなどが実施されたほか、「浄南ピアガーデン」と銘打ち25軒の屋台が出店。会場には多くの来場者が詰めかけ、熱気に包まれた真夏の夜のひとときを満喫していました。



▲ダンスショーを楽しむ来場者

## 竹をいかしたまちづくりに関する講演会

## 新和

### 「竹」の利用方法について学ぶ

大多尾地区振興会では7月14日、農学博士である熊本県立大学の井上昭夫准教授を招いて、「竹をいかしたまちづくりに関する講演会」を大多尾公民館で開催し、地区住民など40人が参加しました。講演では、井上准教授が昔から竹がさまざまな用途に使用されていたことや、管理されていない竹林が環境にどのような影響を与えるかなどを説明。また、今後まちづくりに活用するときに必要な着目点についても話され、来場者は熱心に聞き入っていました。



▲講演会のようす

## 高浜フィールドワーク2011

## 天草

### “外”から見た高浜の魅力

7月16日から同18日まで、九州大学の学生など40人が高浜地区でフィールドワーク（現地研修）を行いました。これは同大学が、同地区にある地域資源の再発掘などを目的に初めて実施したもの。研修では、高浜地区内に根付く歴史や文化、産業など5つのテーマを設け、同地区振興会の役員とともに班に分かれて視察を実施。その後、収集した情報をもとに成果報告会が行われ、参加者からは「天草陶石をもっと利活用しては」などの意見が出されました。



▲成果報告を行う学生たち

## 虫追い祭り

## 河浦

### 夏空にはためく虫追い旗

7月17日、市の無形民俗文化財にも指定されている「一町田八幡宮虫追い祭り」が行われました。この日は、地元住民など約200人が、5色の鮮やかな旗を付けた長さ約15mの虫追い旗を手に一町田川の堤防を練り歩き、豊作を祈願しました。また、同日は一町田地区振興会主催による、この祭りにちなんだイベントを一町田小学校グラウンドで開催。虫追い旗を使った競技やポニーの乗馬体験などが行われ、多くの来場者でにぎわっていました。



▲虫追い旗をはためかせながら練り歩く参加者

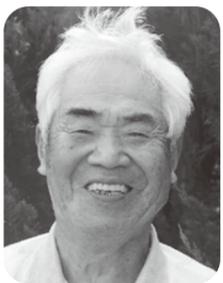


山見勇成さん (牛深町・20歳)

高校を卒業後、地元の水産養殖会社に勤めています。昨年は、消防操法大会で県大会に出場し個人賞を受賞、先日は趣味の野球で西日本大会にも出場でき、良い経験となりました。牛深の海で育った魚はとてもおいしいので、多くの皆さんに、ぜひ食べてもらいたいですね。

宝島の健康

よさげ屋



田中武男さん (新和町小宮地・84歳)

◆毎日の楽しみは？  
毎週、仲間といっしょにゲートボールやグラウンドゴルフを楽しんでいます。また、毎朝のウォーキングも欠かしていません。そして、飼っている愛犬の面倒をみるのも、楽しみのひとつですね。

◆健康の秘けつは？  
食事は、自分の畑で作った野菜などを中心に食べ、量も腹八分を心がけています。また、無理をしない程度の適度な運動も大事。でもいちばんの健康法は、毎日を笑顔で過ごすことだと思います。



南九州地区吹奏楽コンテストで記念の1枚！

心に響く演奏を！

苓明高校 (本渡町本戸馬場) 2年 山下 唯

私たち、苓明高校吹奏楽部は「聴いてくださる方々の心に響く演奏を！」を合言葉に、毎日の練習をがんばっています。7月に行われた熊本県吹奏楽コンクール(高校Bパート)において金賞を受賞し、南九州地区吹奏楽コンテスト宮崎大会に2年連続で出場することができました。また、天草中央総合病院でのクリスマスコンサートや、1年間の総まとめである3月のスプリングコンサートなどの活動も行っています。今後も、技術・精神面の向上を図り、より多くの人に楽しい音楽を届けられるようにがんばりたいと思いますので、ぜひ私たちの音楽を聴きにこ来場ください。応援よろしくをお願いします。

1勝を目指して

高浜小学校 (天草町) 6年 木村 太郎

僕たちの目標は、7月の五和大会で1勝することでした。僕は部活動が終わった後、お父さんとピッチングの練習をしました。お父さんがいつも言うのは「うでをしっかりと回せ」です。それをずっと続けていると、いいボールがたくさん入るようになりました。試合当日はとても緊張しましたが、練習どおりうでをしっかりと回して投げました。すると、緊張もなくなり、三振や内野ゴロがたくさんとれ、バッティングではタイムリーツーベースを打ちました。試合にも勝つことができ、みんなで喜びました。そして、お父さんから「がんばったなあ」と言われました。目標のために今まで練習してきた、本当によかったです。



みんなで守ってくれるので、精いっぱい投げました

ぼくのわたしの学校部活自慢

元気な野菜作りで実効ある食育

崎津保育園 (河浦町)

崎津保育園(吉田富義園長・全園児39人)では、海・山・川の豊かな自然の中で、子どもならではの体験、発見で楽しい日々を過ごしています。5月に、「NPO法人大地と命の会」の指導で生ごみのリサイクルと土づくりをして、ピーマンとちんげん菜の種をまき、元気で美しい野菜作りを続けています。あまり好きではないピーマンも、給食でほかの食材を使いふうをしながら、おいしく食べています。そして、生ごみはまた土に帰し、命の循環の輪を広げ、実効ある食育の実践に力を入れています。

そのほか、特別講師による毎月2回の「英語で遊ぼう」、子育て支援サークル「げんきっずクラブ」の活動も活発で好評です。



みんなで植えたきゅうり。いっぱいとれたよ！



粘土を丸める園児たち

命へのいたわりの心をはぐくむ

瀬戸保育園 (瀬戸町)

瀬戸保育園(渡邊真佐子園長・全園児62人)では、「感性豊かな子ども」の育成を目標に、保護者や地域の小学生、お年寄りの方々に協力と参加を呼び掛けて、『粘土やきもの教室』を実施しています。手や指を使って試行錯誤して、「ちぎる」「たたく」「転がす」「丸める」などの作業をしながら、動物や植物、身の回りの品を真剣なまなざしで形作っていきます。子どもたちの創造力やつぶやき、しぐさにお年寄りや保護者が共感したり、驚いたりしながら、表現の喜びや豊かな可能性に気付かされる楽しい行事です。その中で、園児たちは動植物への親しみや愛着を深めるとともに、命へのいたわりの心をはぐくんでいます。

このゆびとつまみまね

地域づくりコーナー

人が動く  
地域が動く  
天草が動く

心豊かで住みよい地域を目指して

二浦地区振興会 (会長 椎場次穂)

二浦町は、亀浦(195世帯)と早浦(80世帯)の2地区からなり、海や山、田んぼに囲まれた自然豊かなところです。また、二浦は歴史に残る多くの人材を輩出しており、衆議院議員を2期務め牛深漁港などの整備に尽力された、早浦出身の小見山七十五郎氏や天才歌手と呼ばれた亀浦出身の横田良一氏が有名です。横田氏は歌謡界の星として注目を浴び、昭和8年に「天草小唄」など数々の名曲を残しました。その功績をたたえ、生誕の地である亀浦には「横田良一先生誕生の碑」「歌碑」が建立されています。

今後も、住民相互が活発にコミュニケーションをはかりながら、人と人との和を大切にし、心豊かな住みよい地域づくりを目指していきます。

このような中、二浦地区振興会では、地域の自然を守るための、河川の浄化活動や、みんなが集い楽しむ親子ふ



▲“親子ふれあいキャンプファイヤー”の様子



## 復興支援継続の必要性を 強く感じた2日間

天草市長 安田 公寛

市長  
随筆

東日本大震災は発生から間もなく半年を迎えますが、被災地の現状をこの目で確かめるとともに、実際に復興支援のボランティアに加わりたいと思立ち、8月初めの2日間、宮城県を訪れました。

初日は東松島市と石巻市を視察しましたが、被災地の惨状を目の当たりにし、言葉も出ずしばらく立ち尽くしてしまいました。まったく手付かずの地域がまだあるほか、がれきの撤去が進んでいる地域でも、その傍らにがれきや廃車が山のように積み上げられており、復興には長い年月と多くの支援が必要であるということを実感

しました。

2日目は農地のがれき撤去作業に従事しましたが、昨年まで黄金色に輝く稲穂で一面を埋め尽くしていたであろう田んぼは、耕作放棄地のように雑草が生い茂り、見る影もなく荒れ果てていました。全国から集まった20人ほどのボランティアの皆さんとともに作業を行いました。特に半数を占めた20歳代の若者がひたむきに、そして汗まみれになって作業に取り組む姿を見て、震災を通して生まれた人と人との新たな「絆」の大切さと、今後の支援継続の必要性を強く感じました。

# 煌めく人々たち

## ヒトとモノの行き交いを支える“生命船”

山並史典 さん (御所浦町御所浦・37歳)



御所浦町御所浦に住む山並史典さんは、同町の御所浦港を拠点に本渡港、倉岳町の棚底港など、一定の航路を定期的に発着する定期船(39トン)の運航を家族らで営んでいる。これは、山並さんの曾祖父が昭和22年に始めたもの。長年、御所浦地域と天草上島・下島を行き来する人たちの足の役割を果たしているほか、食料や日用品といった生活物資の輸送を担っている。

大阪にある大学を卒業後すぐに帰郷し、家業を手伝い始めて15年になる。以前までは、主に船の接岸作業や貨物の積み降ろし、港での乗船案内などを担当していたが、父親とともに操舵やエンジンの調整業務を行っていた船員さんが勇退。このため、大型船舶の航行に必要な海技士(航海機関)の資格をそれぞれ取得し、現在は船に乗りエンジンの調整を行うほか、みずから預かる航海は、責任の重さも山並さんは顔を引き締める。一方で、「父ともう一人の船員さんも70歳を超えているし、あらたな担い手もない。今の体制をどこまで維持できるかは不透明」と山並さん。航行を担う船員の高齢化、とりわけ担い手不足はかなり深刻だという。それでも、「ほかの定期船やフェリーもあるが、通勤客や病院通いのお年寄りなど、一つでも船がなくなると困る人たちがいるから」と山並さんは話す。

# ハッピー パースデー

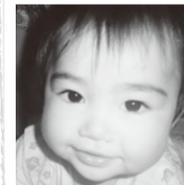
HAPPY BIRTHDAY  
今日で1歳になります



岩本 純生 くん

亀場町亀川  
父・順次さん  
母・恵さん

おじいちゃん・おばあちゃん、いつも遊んでくれてありがとう♡



山崎 彩可 ちゃん

深海町  
父・友広さん  
母・紀子さん

大誠兄ちゃん、悠羽・音韻・優真・寧々ちゃん、深海保育所みんな大好き♡



吉本 充織 ちゃん

浜崎町  
父・功さん  
母・歌織さん

さっちゃんじいちゃんありがとう。



下村 心絆 ちゃん

佐伊津町  
父・真矢さん  
母・早百合さん

優しい元気な子に育ってね。パパとママのこと嫌にならないでね♡



松本 陽翔 くん

本渡町広瀬  
父・裕晃さん  
母・昌子さん

ひまり姉ちゃんこれからもヨロシクネ。



川端 一華 ちゃん

今釜新町  
父・竜二さん  
母・薫さん

たくさん食べて、たくさん遊んで元気に大きくなってね!!



小野川 輝 ちゃん

浜崎町  
父・良介さん  
母・美加さん

いつも元気な子☆たくさん食べてすくすく育ってね!



中武 桃子 ちゃん

亀場町食場  
父・治彦さん  
母・菜穂子さん

元気に育ってね♡



眞田 明美 ちゃん

楠浦町  
父・好輝さん  
母・洋子さん

歩けるようになったから、たくさん遊びにつれてってね。

### 10月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=9月9日(金)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

## 読者のつぶやき



先日、家族で花火を見にいきました。会場となった公園はとても広かったので、ゆったりと花火見物ができました。また、誰かに思いを伝えた後に花火を打ち上げる“メッセージ花火”には感動。私もあんな方法でとわの愛を誓ってほしかったなー。ペンネーム：たまや

最近、年をとったせいか月曜日になかなかエンジンがかかりません。体は疲れているし目はかすむし、やる気が起こらない、いわゆる『月曜病』です。シャキッとするために「ファイトー、一発!」を飲むも効果は持続せず、あとは摂生と気力にたよるのみかな。ペンネーム：息切れのアラゴ



## 皆さんからのお便りを募集しています!

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、100字程度(応募者多数の場合は選考)。※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を直すことがあります。

- ▶応募期限=9月9日(金)まで(必着)。
- ▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入し、天草市役所秘書課へ提出してください。

[郵送・持参]  
〒863-8631 市内東浜町8-1(郵送の場合は住所記載不要)  
天草市役所・秘書課広報聴係  
[電子メール]  
hisyoka@city.amakusa.lg.jp

かんたん おいしい

# ささっとしんせ

～牛肉とピーマンのうま煮～



暑くて料理をするのがつらいとき、電子レンジでささっと作れます。暑さで気力や体力の不足を感じたら、ぜひお試しください。

提供：市食生活改善推進員協議会

## ●材料・分量（約4人分）

牛もも肉（かたまり）…… 200g	A	ごま油…… 大さじ1
ピーマン…… 8個（30g/個）		しょうゆ…… 大さじ2
たけのこ …… 50g		酒 …… 大さじ1
にんじん …… 50g		砂糖 …… 小さじ1
ごま …… 少々		塩 …… 小さじ半分
酒 …… 少々		水溶き片栗粉
しょうゆ …… 少々		片栗粉 …… 小さじ2
		水 …… 大さじ2

## ●作り方

- ①牛肉は千切りにして、酒としょうゆで下味をつける。
- ②ピーマンとたけのこ、にんじんは千切りにする。
- ③耐熱容器に①と②とAを入れてよく混ぜ合わせ、ラップをかけて電子レンジで5分30秒加熱する。  
※途中で2回ほど混ぜ合わせてください。
- ④耐熱容器にたまった煮汁を別の容器に移し入れ、水溶き片栗粉を入れて電子レンジで40秒加熱し、加熱後は再度よくかき混ぜておく。
- ⑤③に④を入れて混ぜ合わせる。



恐竜の島まるごと博物館

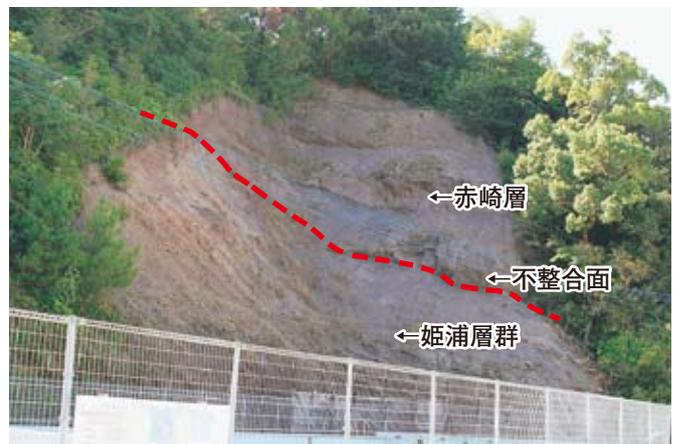
# 天草御所浦ジオパーク



横浦島の西側にある、御所浦北小学校のプール裏の露頭（地層が露出している場所）では、「不整合＝写真」と呼ばれる地質現象を見ることができます。「不整合」とは、古い方の地層が侵食などで削られた後、その上に新しい地層がたい積している状態のこと。同所の不整合は、まず白亜紀の後期である約8,500万年前の深い海底で、姫浦層群の地層がたい積。そして、地殻変動で約5,000万年前には地表にあらわれ、その後、陸上でたい積した<sup>みろく</sup>弥勒層群赤崎層が形成されました。

同所のように、間近で不整合が確認できる環境は、国内にもそう多くはありません。

## 横浦島の不整合露頭<sup>ろとう</sup>



【問い合わせ先】 御所浦白亜紀資料館 ☎072325

先日、食生活改善推進員さんのご厚意で、上記の牛肉とピーマンのうま煮を試食させてもらいました。お肉と野菜のバランスもよく、ごはんのおかずにはぴったり。同推進員の皆さんの「ほらほら！ごはんばかえて食わんねー」の声に、思わず3杯を完食。ごちそうさまでした！  
【素】

この夏、わが家に珍客が！どこから入ったのか、台所に一匹のやもりが。悪戦苦闘の末、やっとの思いで外に追い出しました。ただ、友人が言うには「やもりは、家守リッだから、大事にしないとイケない」とのこと。いやいや、気持ち悪くていっしょには暮らせません…。  
【海】

7月末に小同窓会を行いました。久しぶりだったので、話はずみ時のたつのも忘れて大にぎわいでした。▼A「わら、肥えたっじゃなかつか」B「きゅんた、服の悪か」▼「昔かりふけとったでか、いっちゃん変わらん」▼「まて、うんまかごつして飲むにや」。同級生バンザイ！  
【凡】

